

職業奉仕月間 リソースのご案内 (Vocational Service Month)

*タイトルにリンクが設定されていますのでクリックしてリンク先ご参照下さい。

< RI ページ >

➤ 基本理念

ロータリーの基本理念は、ロータリー会員共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものです。互いの関係や行動の土台として、世界中のロータリー会員がこれらの理念を大切にしています。

➤ ロータリーの2つの公式標語

ロータリーの公式標語「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の歴史についてご紹介しています。

➤ 若い世代の職業人とともに ロータリーの価値

ロータリーの特徴は、事業や市民社会のリーダーが協力して草の根の活動を行っていることです。多世代の会員が交流を通じて学び、人として、また職業人として成長できるのがロータリーの魅力と言えます。

< ラーニングセンター >

当月間に関連するコースもごございますので、詳細は[ラーニングセンターコース一覧](#)をご確認ください。

< 各種資料 > 印刷物の販売、取り扱いは終了となっておりますので、電子ファイルをご活用ください。

➤ 職業奉仕の手引き:実践しよう

「ロータリーの目的」の第2項「職業奉仕」の実践を総合的に紹介した冊子。「職業奉仕」とは具体的にどのように実践できるのか、哲学的な概念からその成り立ち、実践例、関連リソースの案内まで網羅した手引きとなっております。

➤ 2022年手続要覧

五大奉仕の1つ「職業奉仕」に関しては、2 ページからの「ロータリーの基本理念」の項をご参照ください。

< ウェブ掲載記事 >

➤ 子どもへの奉仕を重視する新クラブ、歯科医療の届かない障害児の歯科検診・治療を実施

今年の1月の国際協議会で、ステファニー・アーチック会長は次のように述べられました。

「地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれませんが。

(2024年12月、ロータリーボイスより)

➤ 宇宙飛行士となったロータリアン、夢を現実に変える

子どものころから宇宙旅行に憧れていたサマンサ・クリストフォレッティさんは、今、宇宙の驚異を地球の仲間たちと共有しています。ある意味、ほかのロータリー会合と何ら変わりません。今回の記事では彼女の夢の実現、体験を語ったストーリーが紹介されています。

(2024年12月、ニュース・特集記事より)

➤ 「医療を止めない」被災地の病院を支援

元旦の所作を終え、茨城県の自宅で典雅な雅楽の調べに京の友から贈られた銘酒を傾けたころ、ゆさゆさと始まった揺れはうたた激しくなり、災いの記憶が脳裏をよぎりました。

(2024年1月、ロータリーボイスより)

➤ 人びとと自分の人生を豊かにする職業奉仕

私たちのこれまでのロータリーでの旅路を振り返ってみましょう。私たちは、笑顔が素敵だから、または性格がよいから入会を誘われたわけではありません。変化をもたらすために活かせる職業のスキルがあるから、奉仕へのコミットメントを共有しているからです。それは職業奉仕から始まったのです。

(2024年1月、ロータリーボイスより)

➤ 赤ちゃんの命を守るカンガルーケア

人間も動物も、親は子に対して深い愛情を持つもの。子育てについて言えば、人間が動物から学べることもあります。例えばカンガルーのお母さんは、赤ちゃんが成長するまでお腹の袋の中で育てますが、このカンガルー式子育ては、人間の子育てにもさまざまなメリットがあることがわかっています。

(2023年9月、ロータリーボイスより)

➤ 世界中で活躍する「行動人」2023年10月

Escuintla ロータリークラブが企画した歯科検診でロータリアンの歯科医たちが50人の子供たちに無料で歯科診療を行いました。Barbados ロータリークラブは、銀行員、保険代理店勤務、アクチュアリー、ウェルスマネージャーなど、金融業界で働くクラブ会員の助けを借りて、一連の金融リテラシー・ワークショップを開催しました。

(2023年9月、ニュース・特集記事より)

➤ メンタルヘルスの支援に取り組む分野特化型ロータリークラブ

ロータリアンである夫から長年ロータリーへの入会を勧められてきた医師マリベル・コーリー-シャーさんは、多忙のためこの誘いを断ってきました。しかし、メンタルヘルスとウェルネスに焦点を当てたロータリークラブが設立されると聞くや否や、すぐにその機会に飛びつきました。

(2023年7月、ニュース・特集記事より)

➤ 母国に捧げる歌

シンガーソングライターのギャビー・モレさんは、10代の頃にレコード契約を交わしてロサンゼルスに引っ越しました。これまでにボノ、アンドレア・ボチェッリ、トレイシー・チャップマン、アーニー・ディフランコ、ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブらと共演しているほか、ディズニー初のラテン系プリンセスである『アバローのプリンセス エレナ』のテーマソングも歌いました。

(2023年5月、ニュース・特集記事より)

➤ 元飛行士が次世代科学者の指導にあたる

元軍用飛行士で、米国の宇宙関連機関の契約社員だったジョンダー・ブラッドショーさんは、現在、次世代の科学者やエンジニア、特に恵まれない地域の若者を指導するという別の使命を持っています。

(2023年5月、ニュース・特集記事より)

■ Rotary ニュース・特集記事ページは» [こちら](#)

■ ロータリーボイスページ(日本語)は» [こちら](#)

< [映像資料](#) >

[ポリオとの闘いで先駆的な役割を担った黒人医師を偲ぶ](#)

米国のあるロータリークラブは、白人による病院で拒絶された黒人の子どもたちにポリオの治療を行った黒人医療従事者の功績を称えています。この動画は、ポリオの歴史を世界中の人びとに伝えるために、ロータリーがどのように支援ができるかを紹介しています。[日本語字幕、2分36秒]

[ロータリーによる難民支援:スイス](#)

スイスの会員が設立した若い難民の社会統合プログラムでは、スキルを有する従業員を必要とする地元事業者に、見習い実習生となる難民を紹介しています。

[日本語字幕、45秒]

➤ [ゴミを住居に変える\(インド\)](#)

バイブラント・ヴァルサール・ロータリークラブ(インド)会員である社会起業家ビニシュ・デサイさんは、エコ製品のパイオニアである Eco-Eclectic Technologies を創立。

[日本語字幕、1分38秒]

➤ [ギャビー・モレノ:グアテマラの子どもたちと歌う](#)

ウェブ掲載記事にて紹介したシンガーソングライターのギャビー・モレノさんが、ロータリーの識字プロジェクトが行われているグアテマラの学校で子どもたちと一緒に「Fronteras」を歌っている映像です。

[日本語字幕、3分22秒]

■ Rotary YouTube ページは» [こちら](#)

■ 利用規約は» [こちら](#)